

# 第47話eラーニングでの学習を成功させたい！

学習者特性とSRL度の関係から必要な学習支援を予測する

自己調整学習サイクルにおける計画段階における学習者分類のための質問紙開発（中間発表）

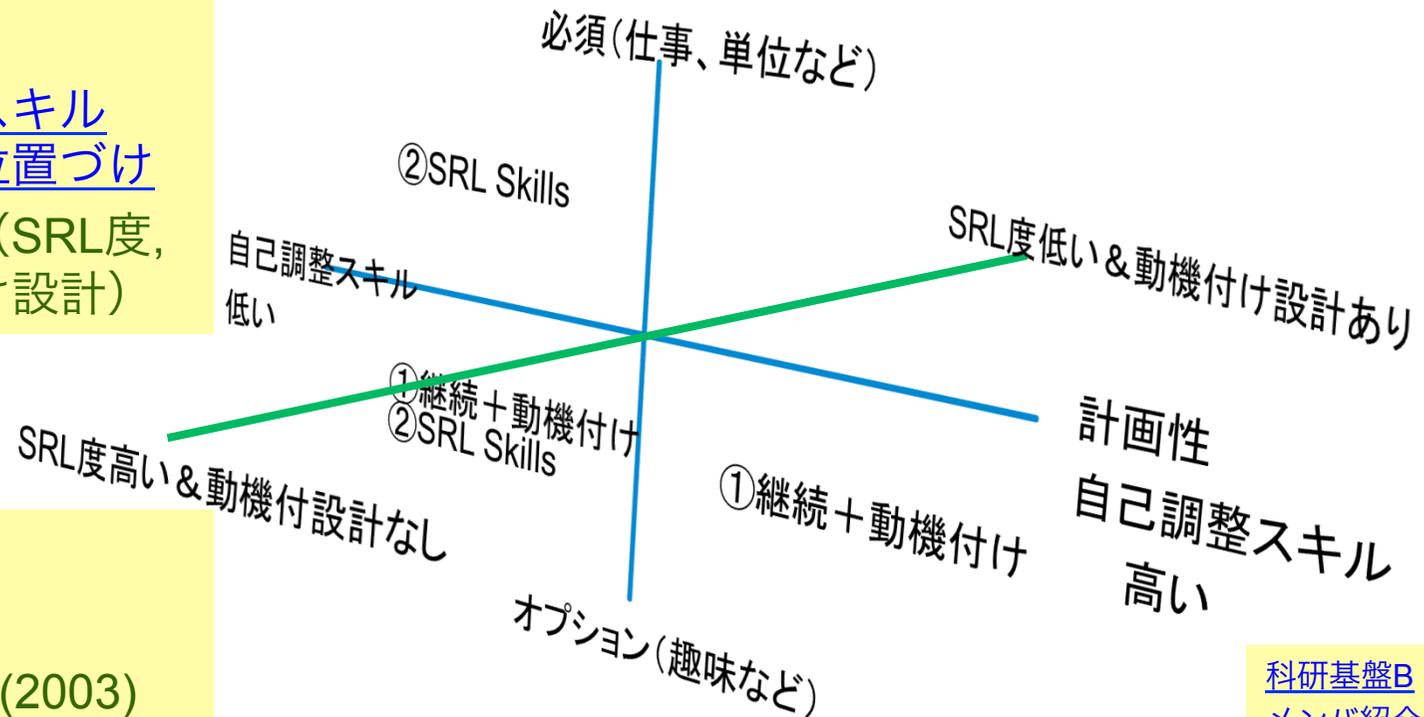


## 必要な支援の決定

- ① 自己調整スキル  
と学習の位置づけ
- ② 教材設計（SRL度,  
動機付け設計）

## 質問紙項目の比較

- Wolter, et al. (2003)
- 合田他（2009）



# 自己調整学習スキル:初心者vs.上達者

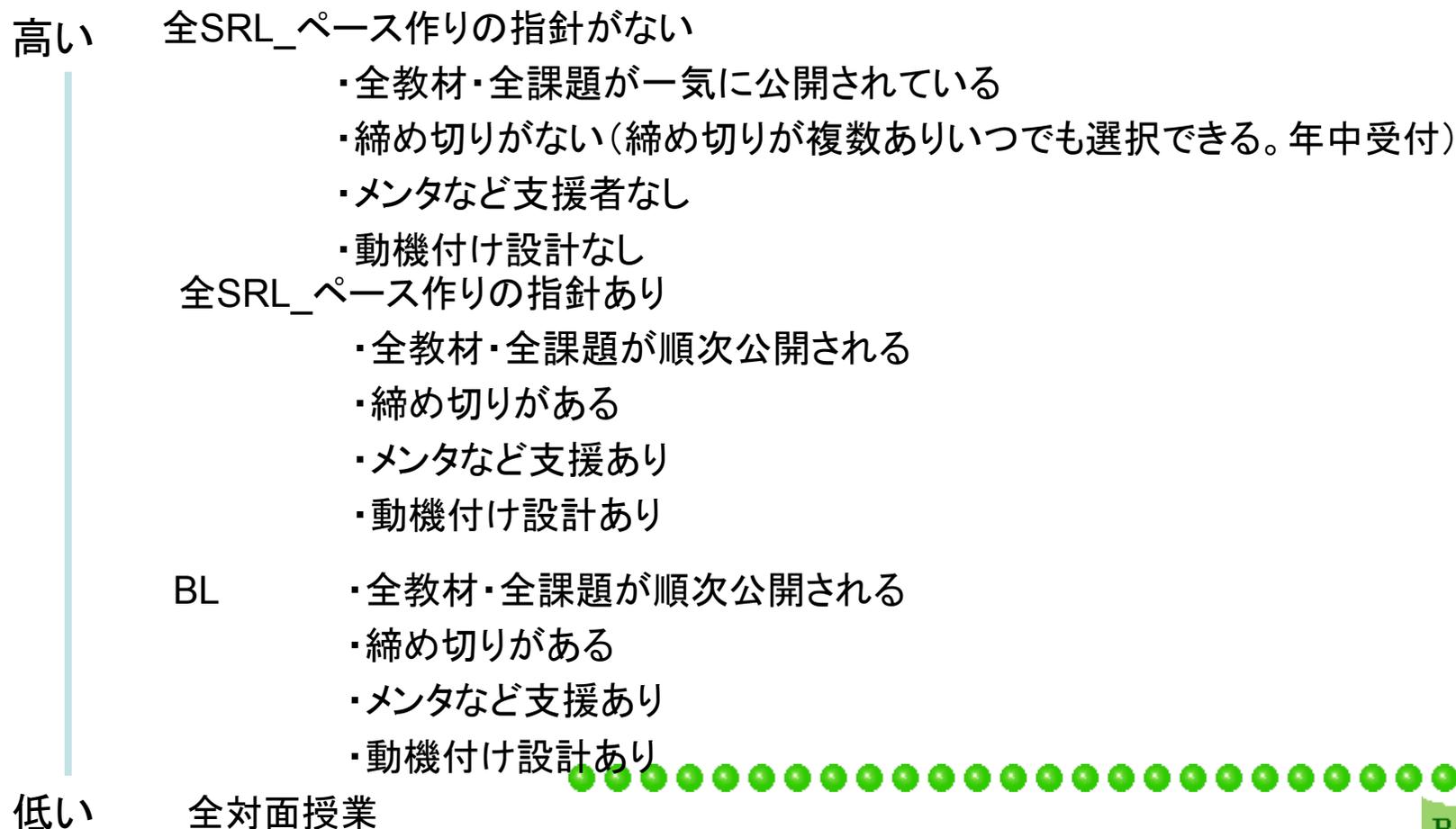
(シャンク・ジーマン 2007)

自己調整学習者の区分		
自己調整の段階	初歩の自己調整者	上達した自己調整者
計画	一般的な遠い目標	特定の階層目標
	遂行の目標指向性	学習の目標志向性
	低い自己効力感	高い自己効力感
	興味がない	内発的な興味
遂行・意志的制御	定まらないプラン	遂行に集中
	セルフ・ハンディキャッピング方略	自己指導/イメージ
	結果の自己モニタリング	過程の自己モニタリング
自己内省	自己評価を避ける	自己評価を求める
	能力帰属	方略/練習帰属
	マイナスの自己反応	プラスの自己反応
	不適応	適応

# 学習者特性と必要な学習支援の関係



# SRL度：自己調整がどの程度 必要かという指標



# 質問紙項目の開発

Wolter他 (2003)

合田ほか (2009)

認知の調整方略	動機の調整方略	行動の調整方略
リハーサル方略	熟達を目指す自己対話	努力の調整
精緻化方略	関連性の強化	時間と学習環境の調整
体系化方略	状況による興味の強化	援助要請
動機の自己調整	パフォーマンスや関連する能力に関する自己対話	
	パフォーマンス・外因性に関する自己対話	
	ご褒美など自己継続	
	環境的構造	

方略	動機	援助要請
学習への意欲・動機の調整	興味喚起	他者からの見え方
学習内容と既知事項との関連性 (精緻化)	自己継続へのご褒美	援助を要請する状況
具体的な学習方略	学習に対する自己対話	援助からの恩恵
学習中止 (の選択)	目標行動に関する自己対話	不適切な援助
学生からの質問に対する教師の態度 (外部リソース)		
学習中の特定の状況における方略		
生活との関連性→一般化→オーセンティック学習		

# 科研メンバ

## 科研基盤研究 (B)

「自己調整学習を促進するメンタリング支援システムの  
開発と評価」

♥宮川裕之 (代表：青山学院大学)

♥加藤浩 (放送大学)

♥松田岳士 (山形大学)

♥山田政寛 (金沢大学)

♥齋藤裕 (青山学院大学)

♥合田美子 (熊本大学)

Back